

〔記入例〕

様式第20の2（第48条の3関係）

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	① 久米 三郎 ○○年○○月○○日生（○○歳）			
② 取り扱った危険物	類 別	第4類	品 名	第2石油類 軽油
③ 取り扱った期間	○○年○○月○○日 から ○○年○○月○○日まで （○年□か月）			
③ 製造所等の別（該当するものを○で囲むこと。）	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。 ⑤ 証明年月日 ○○年○○月○○日 ⑥ 事業所名 ○○株式会社 ⑦ 所在地 ○○町字○○ □□番地 ⑧ 証明者 職 名 ○○株式会社 代表取締役 <div style="margin-left: 200px;">氏 名 ○○ ○○○</div> <div style="margin-left: 150px;">電話番号 ○○○—○○○○</div>				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【実務経験証明書記入要領】

- ① 「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。
- ② 「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名とする。危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に扱うこととする。
- ③ 「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。
 - ※ 取り扱った期間は、6ヵ月以上でなければなりません。
 - ※ 6ヵ月以上の期間のとらえ方は、ブランクの期間があっても、設置者の異なる数か所の危険物製造所等であっても、合計して6ヵ月以上あれば差し支えありません。
なお、後者の場合には、実務経験証明書は複数となります。
- ④ 「製造所等の区分」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○で囲む。複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を○で囲む。
- ⑤ 証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
- ⑥ 事業所名は、実務経験をした製造所等がある事業所の事業所名を記入する。
- ⑦ 所在地は、当該事業所の所在地を記入する。
- ⑧ 証明者は、事業所の長等、当該事業所における業務を統轄、管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入することとする。電話番号は、証明者本人又は当該事業所のものとする。